



カリキュラムマップ  
(歴史/考古学)

【別紙】

※ 学習成果 ⇒ ①+②の要素で表現	科目名	② 当該分野以外においても普遍的に有用性を持つ能力							
		(コミュニケーション能力) 自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとともに、他者との議論を通して協調しながら作業を行うことができる。	(情報活用能力) 多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	(総合的問題思考力) 持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる。	(論理的思考力) 論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	(能動的学習姿勢) 自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えている。	(倫理観、社会的責任の自覚) 高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	(異なる文化・社会への理解) 異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。	
① 分野固有の知識・理解及び技術	a 歴史学と考古学に関する基本的知識を体系的に習得する。	歴史学概論 考古学概論 日本文化史			○ ○ ○	○ ○ ○		○ ○ ○	○ ○ ○
	b 歴史学及び考古学について、それぞれに固有の方法論を修得する。	歴史学方法論 考古学方法論			○	○	○		○ ○
	c 歴史学における史料と、考古学における発掘調査の方法や物質資料の基本的な取り扱い方を修得する。	歴史調査法 古文書学 考古学実習	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
	d 上記a)において与えられた総合的な知識を基に、歴史学の各分野に関する深い知識を習得する。	日本史概説 外国史概説(東洋史) 外国史概説(西洋史)			○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○		○ ○ ○
	e 歴史学と考古学の各専門領域における様々な論点についてさらに深い知識を習得する。	日本史学特殊講義 東洋史学特殊講義 西洋史学特殊講義 考古学特殊講義			○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○
	f 歴史学と考古学の専門書や具体的な研究を取りあげて深く議論し、自らも発信できる能力を修得する。	日本史学演習 東洋史学演習 西洋史学演習 考古学演習	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○
	g 修得した総合的・専門的知識と問題解決能力を応用する。	卒業論文指導 卒業論文	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○		○ ○



カリキュラムマップ  
(日本文化論)

※ 学習成果 ⇒ ①+②の要素で表現		科目名	② 当該分野以外においても普遍的に有用性を持つ能力						
			(コミュニケーション能力) 自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとともに、他者との議論を通して協調しながら作業を行うことができる。	(情報活用能力) 情報通信技術を用いて、多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	(総合的問題思考力) 持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる。	(論理的思考力) 論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	(能動的学習姿勢) 自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えている。	(倫理観、社会的責任の自覚) 高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。	(異なる文化・社会への理解) 異なる文化的背景を持つ人・国・地域・社会等への理解を深める。
① 分野固有の知識・理解及び技術	a) 正確に文章を読む力をつける。	日本文学史			○	○			○
		日本古典			○	○			○
		日本文学演習	○	○	○	○	○		○
		日本文化特殊講義			○	○			○
		日本語文化概論			○	○			○
		日本語学講義			○	○			○
		日本語学特殊講義			○	○			○
		日本語学演習	○	○	○	○	○		○
		言語表現法	○	○	○	○			○
		卒業論文指導	○	○	○	○	○		○
	卒業論文	○	○	○	○	○		○	
	国語科教育法						○		
	b) 自分なりの見解をわかりやすく伝える能力を身につける。	日本文学演習	○	○	○	○	○		○
		日本文化特殊講義			○	○			○
		日本語学演習	○	○	○	○	○		○
		言語表現法	○	○	○	○			○
		卒業論文指導	○	○	○	○	○		○
	c) 各時代の日本文学と日本語についての専門知識を、基礎的事項から最新の知見まで幅広く修得する。	日本文学史			○	○			○
		日本古典			○	○			○
		日本文学演習	○	○	○	○	○		○
日本文化特殊講義				○	○			○	
日本語文化概論				○	○			○	
日本語学講義				○	○			○	
日本語学特殊講義				○	○			○	
日本語学演習		○	○	○	○	○		○	
卒業論文指導	○	○	○	○	○		○		
d) 日本文学と日本語の、多角的な研究方法を修得する。	日本文学史			○	○			○	
	日本古典			○	○			○	
	日本文学演習	○	○	○	○	○		○	
	日本文化特殊講義			○	○			○	
	日本語文化概論			○	○			○	
	日本語学講義			○	○			○	
	日本語学特殊講義			○	○			○	
	日本語学演習	○	○	○	○	○		○	
	卒業論文指導	○	○	○	○	○		○	
	卒業論文	○	○	○	○	○		○	
e) 日本文学・日本語を切り口として、日本文化の独自性を学ぶ。	日本文化特殊講義			○	○			○	
	日本語文化概論			○	○			○	
	書道							○	



カリキュラムマップ  
(中国文化論)

<p>d) テキストを読む際の工具書(各種辞典類)を正しく使用し、それを元に自ら注釈を施す能力を身につける。</p>	<p>中国古典 I 中国古典 II 中国言語文化概論 中国語法 中国語史 漢文学 中国文学史 上級中国語 中国文化論 朝鮮文化論 東アジア文化論 中国文化特殊講義 中国文学演習 日韓関係論A 日韓関係論B</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</p>
<p>e) 演習形式の授業を通し、自身の意見や見解を正しく伝え、適切な資料を元に説得する能力を習得する。</p>	<p>中国語法 中国語史 漢文学 中国文学史 中国文化論 朝鮮文化論 東アジア文化論 中国文学演習 日韓関係論A 日韓関係論B 卒業論文指導 卒業論文</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</p>
<p>f) 各ジャンルの研究史を概観し、現在の研究状況を理解する。</p>	<p>中国古典 II 中国語学概説 II 中国文学概説 II 中国言語文化概論 中国語法 中国語史 漢文学 中国文学史 中国思想史 II 中国文化論 朝鮮文化論 東アジア文化論 中国文化特殊講義 中国文学演習 日韓関係論A 日韓関係論B 卒業論文指導 卒業論文</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</p>	<p>○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○</p>
<p>g) 卒業論文作成を通じて、資料収集、思考の整理、論文作成の方法を習得する。</p>	<p>卒業論文指導 卒業論文</p>	<p>○ ○</p>	<p>○ ○</p>	<p>○ ○</p>	<p>○ ○</p>	<p>○ ○</p>	<p>○ ○</p>	<p>○ ○</p>

カリキュラムマップ  
(英語圏文化論)

※ 学習成果 ⇒ ①+②の要素で表現		② 当該分野以外においても普遍的に有用性を持つ能力						
		科目名	(コミュニケーション能力) 自らの考えや疑問を相手に 分かり易く伝えるとともに、 他者との議論を通して 協議しながら作業を行うこ とができる。	(情報活用能力) 多様な情報を収集・分析 し、効果的かつ正しく活用 することができる。	(総合的問題思考力) 持っている知識、能力等を 総合的に活用しながら、多 角的な視点から物事を思 考し、解決すべき問題の本 質を見極め、それに取り組 むことができる。	(論理的思考力) 論理的展開を的確に理解 したり、自らの考えを論理 的に組み立てたりすること ができる。	(能動的学習姿勢) 自ら解決すべき問題・課題 を見つけ、それに取り組む 姿勢を備えている。	(倫理観、社会的責任の自覚) 高い倫理観を持って、社会に対 主体的に関与する責任を自覚し ている。
① 分野固有の知識・ 理解及び技術	a) 英語のテキストを正確に読解できる言語能力を修得する。	英語圏文化演習 英語圏文学演習 上級英語	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
	b) 英語および日本語の複数のテキストの中および間に存在する隠されたものを読み解く能力を修得する。	英語圏文化論 英語圏文学論 英語圏文化演習		○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
	c) 上記b)において読み解いたものを、説得的かつ論理的に口頭ならびに文章で英語を使用して適切に表現できる能力を修得する。	英語表現論 英作文 英語コミュニケーション論	○ ○		○ ○			○ ○
	d) 上記b)において読み解いたものについて、近代社会を作り上げている様々なイデオロギーとの関連において解釈し批判する能力を修得する。	英語圏文化論 英語圏文学論 英語圏文化史		○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
	e) 文学作品の読解を通して他者の内面を体験し、それと一体化することも距離を置いて批判することも出来る精神的可動性を養成する。	英語圏文学演習 英語圏文学論		○	○	○	○	○
	f) 英語で発信される様々な情報を多様なメディアを通して取得し、自らも発信できる能力を修得する。	英語コミュニケーション論 英作文 英会話 上級英語	○ ○ ○				○ ○ ○	○ ○
	g) 英語圏文化の背景にある様々な知識を系統立てて修得する。	英語圏文学史 英語史 英語学概論 英語圏文化史		○ ○	○ ○	○ ○		○ ○

カリキュラムマップ  
(ドイツ語圏文化論)

【別紙】

※ 学習成果 ⇒ ①+②の要素で表現		科目名	② 当該分野以外にも普遍的に有用性を持つ能力					
			(コミュニケーション能力) 自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとともに、他者との議論を通して協調しながら作業を行うことができる。	(情報活用能力) 多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	(総合的問題思考力) 持っている知識、能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる。	(論理的思考力) 論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	(能動的学習姿勢) 自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えている。	(倫理観、社会的責任の自覚) 高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。
① 分野固有の知識・理解及び技術	a ドイツ語圏の文化についての興味を深め、その広い領域における知識を修得する。	ドイツ語圏文化史AB ドイツ語圏文化論AB ドイツ語圏文化演習		○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○
	b ドイツ語のテキストを正確に読解できる言語能力を養う。	ドイツ語圏文学論AB ドイツ語圏文学演習 ドイツ語圏文化史AB ドイツ語圏文化論AB ドイツ語圏文化演習 ドイツ語学特殊講義 ドイツ語学演習 上級ドイツ語		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○
	c 文学作品の読解を通じて、人間の心理や社会とのつながりを洞察し、それを論評できる感受性と論理能力を養う。	ドイツ語圏文学論AB ドイツ語圏文学演習		○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
	d ドイツ語についての語学的な知識や歴史的な知識を修得する。	ドイツ語史 ドイツ語学特殊講義 ドイツ語学概論AB ドイツ語学演習		○ ○ ○ ○		○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○
	e ドイツ語で自らの意見や感情を表現できる筆記能力を養う。	ドイツ語作文 I ドイツ語作文 II		○ ○		○ ○	○ ○	○ ○
	f ドイツ語でコミュニケーションできる会話能力を養う。	ドイツ語会話 I ドイツ語会話 II		○ ○		○ ○	○ ○	○ ○



カリキュラムマップ  
(フランス語圏文化論)

※ 学習成果 ⇒ ①+②の要素で表現		科目名	② 当該分野以外においても普遍的に有用性を持つ能力					
			(コミュニケーション能力) 自らの考えや疑問を相手に分かり易く伝えるとともに、他者との議論を通して協調しながら作業を行うことができる。	(情報活用能力) 多様な情報を収集・分析し、効果的かつ正しく活用することができる。	(総合的問題思考力) 持っている知識・能力等を総合的に活用しながら、多角的な視点から物事を思考し、解決すべき問題の本質を見極め、それに取り組むことができる。	(論理的思考力) 論理的展開を的確に理解したり、自らの考えを論理的に組み立てたりすることができる。	(能動的学習姿勢) 自ら解決すべき問題・課題を見つけ、それに取り組む姿勢を備えている。	(倫理観、社会的責任の自覚) 高い倫理観を持って、社会に対し主体的に関与する責任を自覚している。
① 分野固有の知識・理解及び技術	a) フランス語のテキストを正確に読解できる言語能力を修得する。	フランス語圏文学論 フランス語圏文学演習 上級フランス語	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
	b) フランス語および日本語の複数のテキストの中および間に存在する隠されたものを読み解く能力を修得する。	フランス語圏文化論 フランス語圏文学論 フランス語圏文学演習		○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○
	c) 上記b)において読み解いたものを、説得的かつ論理的に口頭ならびに文章でフランス語を使用して適切に表現できる能力を修得する。	フランス語学演習 フランス語作文 フランス語圏文学演習	○ ○		○ ○			○ ○
	d) 上記b)において読み解いたものについて、近代社会を作り上げている様々なイデオロギーとの関連において解釈し批判する能力を修得する。	フランス語圏文化論 フランス語圏文学論		○	○	○	○	○
	e) 文学作品の読解を通して他者の内面を体験し、それと一体化することも距離を置いて批判することも出来る精神的可動性を養成する。	フランス語圏文学演習 フランス語圏文学論		○	○	○	○	○
	f) フランス語で発信される様々な情報を多様なメディアを通して取得し、自らも発信できる能力を修得する。	フランス語学演習 フランス語作文 フランス語会話 上級フランス語	○ ○ ○				○ ○ ○	○ ○
	g) フランス語圏文化の背景にある様々な知識を系統立てて修得する。	フランス語圏文学史 フランス語史 フランス語学概論 フランス語圏文化史		○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○		○ ○